

患者様用 地域連携診療計画書（大腿骨近位部骨折連携クリティカルパス）

患者氏名： _____ 様 （患者ID： _____ ）

病 名 ☐右 ☐左 大腿骨骨折（☐頸部 ☐転子部 ☐転子下）

説明日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 主治医 _____

手術日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 （☐骨接合 ☐人工骨頭）

	手術実施病院			転院先医療機関・老健施設		退院後
	医療機関名：大垣市民病院			医療機関・老健施設名：		
	手術後翌週まで	術後翌週	転院・転所まで（ / ）	入院・入所時（ / ）	退院・退所まで（ / ）	
達成目標	熱が出ず、心臓や肺の働きが安定している 手術のキズの痛みが次第に軽くなり キズが化膿しない 背中や腰に床ずれができない 足の指がよく動く 脱臼しない（人工骨頭の場合）	熱が出ず、心臓や肺の働きが安定している キズが化膿しない ころばない 脱臼しない（人工骨頭の場合） 骨折前に歩いていた方は、 少し歩ける程度が転院・転所時の目標です。 できれば歩行器で歩きましょう 骨折前にほとんど歩いていなかった方は 車椅子に乗れるのが転院・転所時の目標です。 手術後14日が目安です。	転落や転倒をしない 骨折前の状態へほぼ回復する （立ったり歩いたりする能力のことです） 脱臼しない（人工骨頭の場合） 退院・退所は手術から2ヶ月以内を目標にしましょう		痛みがほとんどない 転落や転倒をしない	
治療処置	必要に応じて、酸素投与、点滴、ガーゼ交換などを行います弾性ストッキングを装着します	ガーゼ交換や抜糸などを適宜行います弾性ストッキングを装着します			必要に応じて、持病や併発症の治療や処置を行います。	必要に応じて、かかりつけの先生に相談しましょう
検査	採血をします	レントゲンを毎週（必要に応じて）とります		レントゲンや採血を適宜実施します	必要に応じてレントゲンや採血があります	必要に応じて、かかりつけの先生のところで検査を受けましょう
薬剤	手術後は抗生物質の点滴をします 持病のお薬は継続します	持病のお薬は継続します		持病のお薬の確認をします	持病のお薬は継続します 必要に応じて骨粗鬆症の治療薬を開始します	お薬が必要な場合は かかりつけの先生に処方してもらいましょう
生活動作リハビリ	ベッドを徐々に起こします ベッドの端に腰かけます 可能なら車椅子にのります	主治医から許可が出たら、立ったり歩く練習をします 		できるだけ、骨折前の状態に近づくようにリハビリをします。 		転ばないよう気を付けましょう 無理にならない範囲で運動を心がけましょう
清潔	体を拭いたり、シャワー浴など適宜行って、体の清潔を保ちます。			体を拭いたり、シャワー浴など適宜行って体の清潔を保ちます		体を拭いたり、入浴するなどして体の清潔を保ちましょう
排泄	翌日まではベッド上です	車椅子に乗れるようになれば、トイレに行きます 		トイレに行けるようになれば、トイレに行きます		歩ける程度に応じて、ポータブルトイレなどの使用も考えましょう
食事	体格や病状に応じた食事ができます 			リハビリのためにも栄養をよくとりましょう		バランスの良い適度な量の食事を心がけましょう
説明その他	手術後や転院・転所のときに、適宜ご説明いたします 不明の点やお困りの点は遠慮なく主治医または看護師へおたずね下さい 			入院・入所中は適宜、説明をいたします 疑問の点等は遠慮なくおたずね下さい		かかりつけ医等に 適宜おたずね下さい

大垣市民病院 整形外科

上記の説明を受け、理解しました。

患者・家族氏名

続柄（ ）